

施策評価管理シート

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局（室）名	部局長名
	基本施策	5	快適な生活環境づくり		
	施策	5	下水道等	上下水道部	山森 幹

2023(令和5)年6月作成

1. 施策の基本方針（目指す将来像）



○ 快適な生活環境の形成と河川等の水質保全のために、名張市下水道整備マスタープランに基づき、公共下水道の新規整備や住宅地汚水処理施設の接続移管をはじめ、地域の状況に応じた合理的な整備手法により下水道事業を進めます。また、各汚水処理施設の適正な維持管理や持続的な事業管理に取り組みます。

2. 令和4年度の実行内容及びその成果



[整備計画]

・公共下水道中央処理区では令和3年度に引き続き、区域拡大(美旗地域)に向けた管渠詳細設計や幹線管渠工事を進めるとともに、公共接続を予定している住宅地汚水処理施設の住民や関係者への説明会等を実施し、施設移管に向けた合意形成に取り組みました。
・中央浄化センター増設事業(①生活排水処理施設の新設、②水処理施設の増設)について、①令和3年5月から着手した生活排水処理施設の土木・建築工事が令和5年3月に完成し、機械・電気工事の機器製作と設置準備に取り組んでいます。②水処理施設の増設に係る土木・建築工事について、令和4年11月より着手しました。

[維持管理]

・下水道ストックマネジメント計画に基づき、南部つつじが丘処理場基本設計業務に着手するとともに、桔梗が丘第1処理区分内の管渠詳細設計や管渠更新工事を実施しました。
・農業集落排水事業“名張市第2期地区”における施設の規模や処理方式の適正化等を検討した維持管理適正化計画書を策定しました。

[事業運営]

・公営企業会計移行後2か年の決算が明らかになったことから、平成28年度策定の官公庁会計による公共下水道事業や農業集落排水事業など各事業ごとの“経営戦略”について、下水道事業一体としての見直し改定に取り組みました。

3. 施策指標（目標）の達成状況



施策指標（目標）の内容（単位）		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	達成率
生活排水を適切に処理する環境が整備されていると思う市民の割合（％）	目標	-	-	-	-	-	80.7	100.0%
	成果	77.9	81.1	78.1	82.4	80.5	83.1	
公共下水道を利用できる市民の割合（人口普及率）（％） （中央処理区）	目標	-	-	-	-	-	36.1	66.7%
	成果	31.6	33.2	33.5	34.6	34.6	34.6	

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



[整備計画]

・中央処理区内の工業専用地域を含む未整備地の早期解消が課題として残っています。また、公共下水道への早期接続整備が望まれている美旗地域の既存汚水処理施設（民間管理）においても、施設の老朽化や不明水の混入に加えて、施設管理図書が整備されていないなど公共接続移管に向けた対策が課題となっています。直近では、未普及対策事業にかかる国の予算配分が要求に対して半減するなど、区域拡大の整備に向けた予算確保が課題となってきています。

[維持管理]

・下水道施設の耐震化や老朽化対策に加えて、人口減少に応じた施設の規模・処理方式の見直しや再編・統廃合などに取り組む必要があります。また、公共下水道区域の拡大整備で増える施設や民間管理から移管する住宅地汚水処理施設の維持管理体制が必要となってきます。

[事業運営]

・公共下水道区域の拡大整備による事業推進に加え、今後、企業債償還金の増加や施設の老朽化に伴う更新費用や維持管理経費の増加が見込まれることから、持続可能な事業運営のため、中長期的な視点に基づく計画的な経営に取り組む必要があります。

5. 分析結果を踏まえた新総合計画推進に向けた施策の実行内容（令和5年度以降）



[整備計画]

・中央処理区の未整備地の解消並びに美旗地域の既存施設の早期接続整備については、国予算の確保はもとより、対応方針や既存施設関係者への説明・協議について部内関係室で調整し、移管協議や共同で進める施設調査を早い段階から行い、地域特性を踏まえた整備手法や区域設定、移管対象施設の検討に取り組みます。

[維持管理]

・各種計画書に基づいて、詳細設計業務や更新・改築工事を進めるとともに、将来に向けて既存施設の規模・処理方式の見直しや再編・統廃合などの検討、維持管理業務の包括的民間委託などの検討に取り組みます。

[事業運営]

・毎年、事業計画の進捗状況や決算の実績を確認し、投資・財政計画の検証を行い、時代変化や上位計画に合わせた見直しを行うことで、将来にわたり安定した下水道サービスの提供が可能な事業運営に取り組みます。

施策を構成する主な事務事業

*R4決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和4年度内容	R4決算額	うち 一般財源
一般	浄化槽設置費等補助金	上下水道部	経営総務室	生活排水等を処理する合併処理浄化槽の設置と適正管理を進め、公共用水域の水質汚濁防止を図るため、浄化槽設置に係る補助金を交付しました。 ・新築分 10基 1,500千円 ・転換分 2基 300千円 ・汲み取りからの転換に伴う配管 2基 120千円	1,920	1,260
下水道事業会計	下水道事業会計	上下水道部	経営総務室	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業の運営 ・中央処理区画整備、幹線管路整備等 ・施設管理、管渠修繕工事等 ・中央浄化センター増設事業 ・農業集落排水維持管理適正化計画策定業務委託 ・既設戸別浄化槽の維持管理 〈令和3年度繰越分〉 資本的支出 568,959,160円 〈令和4年度現年分〉 収益的支出 2,564,200,362円 資本的支出 2,319,381,003円 【参考】 継続費通次繰越額 488,210,000円 繰越額 485,966,000円	5,452,541	-